

※ 数値等は全て速報値のため、今後変更される可能性があります。

令和6年能登半島地震に係る災害派遣について

全般

- 令和6年1月1日（月）1610頃、石川県能登地方を震源とする最大震度7（M7.6、深さ約16km）の地震が発生。
- 同日1645、石川県知事から陸上自衛隊第10師団長（守山）に対して災害派遣要請があり、同時刻受理。
- 2日（火）1040、陸自中部方面総監を長とする統合任務部隊（JTF）を編成
- 4日（木）0900、富山県知事から陸上自衛隊第10師団長（守山）に対して災害派遣要請があり、同時刻受理。
- 9日（火）、陸自第10師団長が富山県知事から災害派遣撤収要請を受け、富山県における活動を終了。
- 14日（日）、国道249号の啓開作業のため、輸送艦「おおすみ」から重機等をエアクッション艇により深見町へ揚陸。
- 同日、防衛省がPFI方式で契約している民間船舶「はくおう」を七尾港に派遣し、東部方面隊によるPFI船舶支援隊が石川県と協同して、被災された方々に向けた宿泊や入浴等のための一時休養施設を開設。

15日までの活動実績（延べ）

- 11日（木）以降、孤立地域からの被災者の二次避難に係る輸送支援を推進
- 人命救助：救助・・・約860名
- 衛生支援：診療・・・約640名
患者輸送・・・約590名
- 輸送支援：糧食・・・約799,200食
飲料水・・・約790,300本
毛布・・・約16,300枚
燃料・・・約44,700L 等
- 給食支援・・・約40,100食
- 給水支援・・・約1,860t
- 入浴支援・・・入浴約31,700名
- 道路啓開：県道1号、6号、52号、57号、266号、285号及び国道249号 等の一部区間
- PFI船舶利用者・・・約80名



<15日(月)の主な活動>

【人命救助活動】

- ・空自航空救難団のUH-60×1機により、セントラルパークから人員輸送を実施
- ・空自入間救難団のCH-47×1により、マリントウンから産業展示館へ避難者22名の輸送を実施

【道路啓開活動】

- ・大谷町、仁江町、能納屋地区及び門前暮坂地区において道路啓開及び土砂瓦礫除去を実施
(陸自第10施設大隊、第372施設中隊、第35普通科連隊)

【輸送支援活動】

- ・空自第2輸送航空隊のC-1×1機により、小松へ救援物資の輸送を実施
- ・護衛艦「ゆうだち」及び「せとぎり」搭載のSH-60×各1機により、輪島分屯地へ物資輸送を実施。
- ・陸自第33普通科連隊及び第35普通科連隊により健民体育館、輪島市内、金沢市内、マリントウンにおいて物資輸送を実施

【給水支援活動】

珠洲市、輪島市、能登町、穴水町、志賀町において給水支援活動を実施
(空自第6航空団、第4高射隊、第12高射隊、第13高射隊、第14高射隊、第15高射隊、第22警戒隊等)

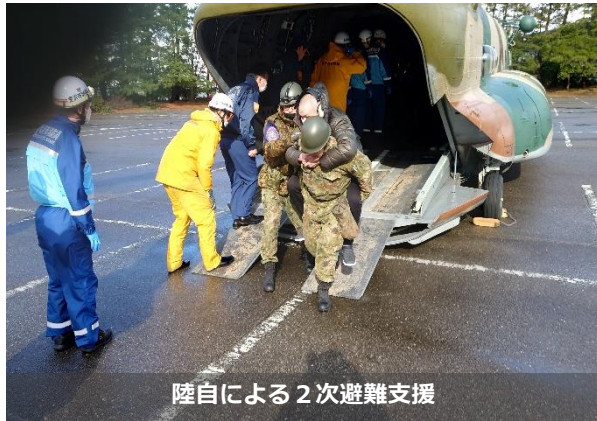
【給食支援活動】

珠洲市、輪島市、穴水町、志賀町において給食支援を実施
(陸自第13後方支援隊、中部方面後方支援隊、空自第2移動警戒隊、第3移動警戒隊、第6航空団、第7航空団等)

【入浴支援活動】

珠洲市、輪島市、能登町、穴水町、七尾市、志賀町において入浴支援活動を実施
(陸自第13後方支援隊、中部方面後方支援隊、舞鶴地方隊)

活動の様子



陸自による2次避難支援



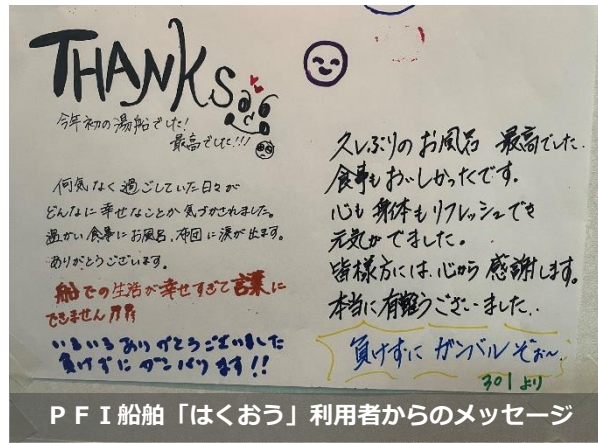
空自による2次避難支援



海自SH-60による支援物資輸送



予備自衛官による訪問診療



PFI船舶「はくおう」利用者からのメッセージ



陸自による道路啓開活動



即応予備自衛官による物資輸送



陸自による給水支援



陸自による給食支援